## 企業版ふるさと納税寄附目録・感謝状贈呈式を開催

**末永電気株式会社**

８月２４日、企業版ふるさと納税寄附目録・感謝状贈呈式を開催し、末永電気株式会社末永英司代表取締役より、３００万円の寄付をいただきました。あいさつの中で末永代表取締役は「昨年６月３０日をもって創業７０周年を迎え、その一端として地域の皆さまにできることがないかということで、今回企業版ふるさと納税という形を取らせていただきました。大野町のこれからがますます発展することを願っております」と述べられました。町長は「御社が大野町を思い、寄付をいただけたことを大変うれしく思います。有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。




▲感謝状を手にする末永代表取締役



## 健康増進事業に役立てて

**明治安田生命保険相互会社**

９月３０日、明治安田生命保険相互会社松尾敏洋岐阜金華営業部長が来庁し、町の健康増進事業に役立てて欲しいと６０６，０００円の寄付をいただきました。

同社の寄付は今年で７年目となり、町長は「町民の健康増進に有効活用させていただき、健康寿命延伸と地域全体で生活を支える社会実現に向けて取り組んでまいります」と謝意を述べました。

## 地域の安全・安心のために

**「ＳＴＯＰ！特殊詐欺」共同宣言**

近年、特殊詐欺被害が全国的に増加傾向にある中、揖斐郡内においても被害が後を経たず、町民の安全・安心な暮らしを脅かす問題となっています。

これまで以上に行政と警察が緊密に連携し、地域一体となって住民の安全・安心を守るため、１０月１６日揖斐警察署にて大野町長、揖斐川町長、池田町長、揖斐警察署長が「ＳＴＯＰ！特殊詐欺」共同宣言を行いました。

◆町民総ぐるみの被害防止運動　◆だまされないための情報発信
◆特殊詐欺対策・防犯アプリの普及



▲森上隆則揖斐警察署長（左）、岡部栄一揖斐川町長（中左）、竹中誉池田町長（右）

## 長寿のお祝い

９５歳おめでとうございます
これからも健やかに



黒岩（くろいわ）　澄子（すみこ）さん（相羽）



馬渕（まぶち）　晋（すすむ）さん（黒野）



永井（ながい）　美也子（みやこ）さん
（桜大門）



小川（おがわ）　道子（みちこ）さん
（大衣斐）

## スポーツを通じた地域活性化
### FC 岐阜表敬訪問

９月１８日、FC 岐阜の宮島武志代表取締役副社長が、町とのさらなる交流や、スポーツを通じた地域の盛り上がりについて意見交換を行うため役場を訪れました。

宮島副社長から「町民の皆さまには、一人でも多く試合を見に来ていただきたい」との話があり、これに対し町長は「スポーツを通じて町を盛り上げるために、しっかりと PR をしていきたい」と述べました。

今後も大野町は、FC 岐阜との連携を生かし、スポーツを通じた地域の活性化に取り組んでいきます。



▲宮田博之相談役（左）、宮島副社長（右）

## 力強く健闘を誓う
### 中日本大会出場者　激励会

９月２５日「メニコン・中日スポーツ杯　第２１回日本少年野球中日本秋季大会」に出場する選手の激励会を開催しました。

出場する８人の選手は「チームに貢献して、優勝できるように頑張りたい」「精一杯プレイできるように頑張りたい」「チームを救うようなプレイをしたい」「チームに少しでも役に立てるように頑張りたい」「キャプテンなので声出しからチームを作っていきたい」「バッティングや守備でチームに貢献したい」「優勝できるように頑張りたい」「一つでも多く勝って試合を楽しみたい」と強く述べました。



▲後列左から野村さん、目加田さん、井上さん、國枝さん、関さん、前列左から松尾さん、伊藤さん、小森さん

町長からは「それぞれが自分のチームのために頑張って欲しい」と、教育長からは「大野町のみんなが活躍できるように、仲間と一緒に頑張って欲しい」と激励しました。

出場する選手は次のとおりです。

**○メニコン・中日スポーツ杯　第２１回日本少年野球中日本秋季大会**

大野中学校２年　伊藤　祥吾、井上　凛音、小森　音翔、関　飛雄馬、松尾　壱我、目加田　悠成

揖東中学校２年　國枝　一心、野村　悠人

## 大野町と北見市との架け橋へ
### 北海道北見市常呂町へ町内小学校児童１６人派遣

７月２２日から２５日にかけて、小学校児童国内派遣事業を実施し、町内小学校の６年生１６人を北海道北見市常呂町へ派遣しました。一部活動の変更はありましたが、派遣期間中は晴天に恵まれ、団員たちは皆元気に全行程を終えることができました。

２日目には、国内最大の６つのレーンを有するアドヴィックス常呂カーリングホールで、氷上カーリング体験を行いました。講師の説明を聞き、基本の動きを練習後、チームに分かれて対戦しました。

４日目には、常呂町岐阜地区を校区にもつ錦水小学校を訪問し、５・６年生と交流会を行いました。錦水小学校の児童からは常呂町の魅力についての発表を聞きました。大野町派遣団は、大野町の魅力をクイズ形式にして発表し、交流会を盛り上げました。

また、タマネギ工場や漁港などを見学させていただき、北見市ならではの魅力を楽しみました。特に漁港では、獲れたてのホタテをその場で調理していただき、刺身で堪能しました。「こんなに甘いホタテは食べたことがない！」と皆が驚いていました。さらに漁港では、全長２mほどのミズダコを触らせていただき、貴重な体験ができました。

この派遣事業を通して、１２０年以上にわたって大野町と北見市とが深いつながりをもっていることを実感し、派遣団全員がかけがえのない貴重な体験を重ねることができました。参加した団員がこの経験を活かし、今後も大野町と北見市との架け橋として活躍することを願っています。



▲カーリング体験



▲タマネギ工場見学



▲錦水小学校の仲間と



▲獲れたてのホタテ